



校長室だより

校長 山崎 聡子

すてきな子供たちの姿

1月14日(火)～17(金)まで、児童会の呼びかけで、朝のあいさつ運動が実施されました。登校してきた子供たちが昇降口前から校庭にかけてあいさつ運動をしていました。元気な声で声をかけられると、「頑張ろう」という前向きな気持ちになります。児童会の子供たち、そして、参加してくれた子供たちに感謝の思いでいっぱいです。子供たち自らが、挨拶ができる学校にしていくために動きを作っていることに子供たちのもつ力を信頼していくことの大切さを感じます。子供たちの良さを引き出せるよう、教職員も日々関わっていきます。「あいさつを大切にしたい」という子供たちの思いを御家庭でも支えていただければ幸いです。

「昨日はありがとうございます」と2年生が校長室にすてきなメダルを持ってきてくれました。担任が出張でしたので、1時間だけですが、2年生のクラスに入りました。2年生とは思えないほど、立派な姿に驚きました。授業開始時刻になると自分たちで声をかけ合い、号令が始まります。課題にも静かに集中して取り組んでいました。その後は、給食の準備です。「5分間で準備をできる」と宣言したとおり、お互いに声をかけ合いながらあっという間に準備をして並びます。4月から今日まで、様々な課題にみんなで向き合いながら、協力し合えるクラスを創り上げてきたのだと思います。



成人式

令和7年1月13日(火)、成人式に参加してきました。20歳を迎えたのは、座間市では1,191人ということでした。ハーモニーホール座間が改修工事のため、スカイアリーナ座間で開催された成人式となりました。久しぶりに仲間に会えた喜びと共に、お互いの近況を伝え合いながら一人一人が輝いている姿に、会場全体が前向きな力で包み込まれているなあと感じました。

市長から「生まれてきてくれてありがとう」という温かな言葉から始まりました。生まれてくる確率は1/1400兆であること、「ありがとう」を漢字で書くと「有難い」と書き、生まれてくる確率を考えると、「有ることが難しい」中で生まれてきた大切な存在なのだという、これからの人生の中で辛く、苦しく、思うようにいかないこともあるが、それは必ず自分の役に立つことになっていくときがくること、奇跡的な確率から生まれた一人一人には乗り越えていける力があることを信じて、前を向いて進んでいってほしいというメッセージが贈られました。

20歳を迎えた新成人を卒業学年で担当した教員も式に参加していました。「今、受け持っている子供たちも、何年か後には、立派な20歳を迎えることになる」と感慨深く話していました。

1/1400兆で生まれてきた尊い存在である子供たちが、長い人生の中で力強くそして幸せに生きていけるように、日々関わっていきたいという思いを新たに作る時間となりました。